**令和７年度　５歳児健康診査事業〈モデル実施〉について**

**1．概要・目的**

　 幼児期は、言語の理解能力や社会性が高まる時期であり、個人の成長や発達を診察するだけでなく、集団における立ち振る舞いを評価し、個々の発達特性を早期に発見する大切な時期である。区は、３歳児健診までに発達相談につなげる体制を整備してきたが、円滑な就学につなげるため、就学時健診より早期に気づく機会が必要であり、５歳児健康診査を実施する。

**２．対象者**

　　モデル園に選定された園の今年度5歳になる４歳児（年中）クラスの児童

　　※１２園、２５０人～３００人程度を予定、モデル園は今後決定。

**３．手法**

①　保護者による電子アンケート（「ここあぽ」というアプリケーションを活用）

　　②　園での心理職による集団観察による評価

　　③　①と②の結果に基づき、集団健診の対象となる児童の選定

　　④　保健センターで集団健診を実施、必要な支援等紹介

　　⑤　健診後カンファレンス、必要応じ、保育園、幼稚園、教育総合支援センター、発

　　　達相談室等へつなげる

**４．スケジュールの見込み**

　　５月～６月：モデル園への説明、対象保護者あて事業周知、

　　　　　　　　健診に向けた医師会との協議

　　７月～１０月：保護者アンケート、園での集団観察による評価実施、

　　　　　　　　　健診対象児童の選定、集団健診の準備

　　１１月～３月：集団健診、健診後フォロー

　　通年を通して：次年度以降に向けた事業検証